

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	青森県	地区名	大放水
-----	--------------	-------	-----	-----	-----

１．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	3,204,757 千円	
当該事業による費用		987,869 千円	
その他費用		2,216,888 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）		3,870,225 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.20	

２．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	118,040 千円	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：水稻、大豆等
営農経費節減効果	64,401 千円	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：水稻、大豆等
維持管理費節減効果	12,184 千円	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路、排水機
災害防止効果	15,058 千円	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での災害による被害額が増減する効果 対象施設：農地、農業用施設
計	185,315 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	秋田県	地区名	平鹿平野（二期）
-----	--------------	-------	-----	-----	----------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		159,149,378 千円	
年 効 用		10,549,880 千円	
廃 用 損 失 額		268,460 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		43 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0536	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	196,557,659 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.23	

２．年効用の総括

項 目		年効果額	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	1,214,700 千円	用水改良に伴う単収、作物生産の増加。 対象作物：水稻、えだまめ、すいか、大豆他
営農経費の節減	営農経費節減効果	4,074,019 千円	関連事業による労力の省力化、機械経費の節減 対象作物：水稻
	維持管理費節減効果	1,059,189 千円	用水施設の改修による施設の維持管理費の削減 対象施設：頭首工、農業用排水路等
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4,065,152 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：頭首工、農業用排水路等

項 目		年効果額	効果の内容
地域の生活環境 の保全・向上	安全性向上効果	32,077 千円	関連事業により用水施設の改修に伴う転落防止柵設置による安全性の確保 対象施設：農業用用水路
	公共施設保全効果	85,608 千円	用水路改修に伴う補償により道路及び橋梁（旧施設）が持つ従来機能の維持 対象施設：道路、橋梁
	水辺環境保全効果	19,135 千円	関連事業により魚類等の生息環境に配慮した施設の設置による水辺環境の保全 対象施設：頭首工
計		10,549,880 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	茨城	地区名	中野東 2 期
-----	--------------	-------	----	-----	---------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,376,476 千円	
年 効 用		84,430 千円	
廃 用 損 失 額		千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		31 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0591	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,428,596 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.03	

2．年効用の総括

項 目		年効果額	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	79,872 千円	排水路整備に伴う作付増及び収量増 対象作物：甘藷，馬鈴薯，ピーマン，若松，大根，ニンジン
営農経費の節減	営農経費節減効果	3,627 千円	排水機能が向上し，ほ場の作業効率が高まることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：甘藷，馬鈴薯，大根，ニンジン
	維持管理費節減効果	191 千円	排水路整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：農業用排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	740 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農業用排水路
計		84,430 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	栃木	地区名	西前原
-----	--------------	-------	----	-----	-----

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	3,298,987 千円	
当該事業による費用		2,345,311 千円	
その他費用		953,676 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間		47 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）		3,727,036 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.84	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	16,446 千円	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：水稻、小麦、二条大麦、にら、たまねぎ
維持管理費節減効果	2,834 千円	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路、排水機場
災害防止効果	246,065 千円	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での災害による被害額が増減する効果 対象施設：農作物、農用地、農業用施設、一般資産
計	259,678 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	千葉	地区名	両総茂原南
-----	--------------	-------	----	-----	-------

１．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	7,246,087 千円	
当該事業による費用		1,723,143 千円	
その他費用		5,522,944 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間		47 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）		7,649,097 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.05	

２．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	429,314 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：水稲、スイートコーン等
維持管理費節減効果	27,824 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用用水路
営農経費節減効果	20,465 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：水稲、スイートコーン等
計	381,025 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業と併せ行う 農地防災排水事業	都道府県名	新潟県	地区名	阿賀野川右岸 (1 期)
-----	---------------------------	-------	-----	-----	-------------------

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	7,959,084 千円	
当該事業による費用		3,600,283 千円	
その他費用		4,358,801 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		52 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		14,837,185 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.86	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	103,855 千円	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合 で農作物生産量が増減する効果 対象作物：水稲、大豆、飼料作物、ばれいしょ他
営農経費節減効果	71,427 千円	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合 で営農経費が増減する効果 対象作物：水稲、大豆、飼料作物、ばれいしょ他
維持管理費節減効果	17,230 千円	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合 で維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路、排水機場
災害防止効果	160,555 千円	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合 で災害を防止する効果 対象資産：農作物、農地、農業用施設、一般資産
景観・環境保全効果	497,591 千円	生態系に配慮した排水施設の整備をすることによる生 態系の保全や地域住民の自然体験・学習に寄与する効 果 対象施設：農業用排水路
計	816,198 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	基幹水利施設 ストックマネジメント事業	都道府県名	新潟県	地区名	潟川（１期）
-----	------------------------	-------	-----	-----	--------

１．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	12,430,993 千円	
当該事業による費用		2,497,858 千円	
その他費用		9,933,134 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間		52 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）		16,676,642 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.34	

２．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	164,521 千円	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合 で農作物生産量が増減する効果 対象作物：水稲、大豆、さといも、ねぎ、麦類
営農経費節減効果	572,329 千円	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合 で営農経費が増減する効果 対象作物：水稲、大豆、なす、さといも等
維持管理費節減効果	1,586 千円	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合 で維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路
災害防止効果	27,180 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合 で災害を防止する効果 対象資産：農作物、農地、農業用施設
計	762,444 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	石川県	地区名	大慶寺用水
-----	--------------	-------	-----	-----	-------

１．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	3,193,992 千円	
当該事業による費用		1,451,712 千円	
その他費用		1,742,280 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間		61 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）		3,381,840 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.05	

２．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	172,725 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：水稲、大豆、とまと、ブロッコリー等
営農経費節減効果	17,929 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：水稲、大豆、とまと、ブロッコリー等
維持管理費節減効果	6,167 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路
地域用水効果	253 千円	用水路の整備を実施した場合としなかった場合での除雪経費が増減する効果 対象施設：農業用排水路
計	148,882 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	石川県	地区名	中村用水第2 三期
-----	--------------	-------	-----	-----	--------------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		10,311,210 千円	
年 効 用		829,672 千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		32 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0750	総合耐用年数に応じた効用から総便 益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	11,062,293 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.07	

2．年効用の総括

項 目		年効果額	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	12,217 千円	用排水施設の改修に伴う作付面積の拡大 対象作物：大豆、とまと、きゅうり キャベツ、だいこん、はくさい
営農経費の節減	維持管理費節減効果	70,088 千円	用排水施設の改修に伴う施設の維持管理 費の節減 対象施設：農業用用水路
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更新効果	302,787 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業 生産の維持 対象施設：農業用用水路
地域の生活環境 の保全向上	地域公共被害軽減効果	444,580 千円	排水施設の改良に伴い排水条件が改善さ れることによる洪水被害の軽減 対象施設：農業関係資産、一般公共資産
計		829,672 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	福井県	地区名	河合春近用水西
-----	-----------------	-------	-----	-----	---------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		8,523,300 千円	
年 効 用		493,144 千円	
廃 用 損 失 額		70,368 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		35 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0557	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	8,783,205 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.03	

２．年効用の総括

項 目		年効果額	効果の内容
営農経費の節減	営農経費節減効果	28,849 千円	用水施設の改修に伴い水管理費が節減する効果 対象作物：水稻、大麦、大豆、そば
	維持管理費節減効果	28,803 千円	用水施設の改修に伴う維持管理費が節減する効果 対象施設：農業用用水路、用水管理施設
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	413,280 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産が維持される効果 対象施設：農業用用水路
地域の生活環境の保全向上	安 全 性 向 上 効 果	10,436 千円	用水路の暗渠化により事故等が減少し、地域の安全性が向上する効果 対象施設：農業用用水路
	文 化 財 発 見 効 果	1,218 千円	関連事業の実施に伴い埋蔵文化財の発掘調査を行い、文化的価値が明確化される効果

項 目		年効果額	効果の内容
	公共施設保全効果	155 千円	関連事業の実施に伴い公共施設が保全される効果
	地 域 用 水 効 果	918 千円	関連事業の実施に伴い農業用水の地域用水としての機能が増進する効果
	水辺環境整備効果	9,485 千円	関連事業によりせせらぎ水路を整備することにより、水辺環境が創設される効果
計		493,144 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	福井県	地区名	沖田用水
-----	-----------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		7,630,860 千円	
年 効 用		638,987 千円	
廃 用 損 失 額		184,417 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		30 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0601	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	10,447,650 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.36	

2．年効用の総括

項 目		年効果額	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	11,815 千円	関連事業の実施により農作物生産量が増加する効果 対象作物：水稻、大麦、大豆
営農経費の節減	営農経費節減効果	367,209 千円	用水施設の改修に伴い水管理費が節減する効果 対象作物：水稻、大麦、大豆、そば
	維持管理費節減効果	36,989 千円	用水施設の改修に伴い維持管理費が節減する効果 対象施設：農業用用水路、揚水機、用水管理施設
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	201,239 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産が維持される効果 対象施設：農業用用水路、揚水機
地域の生活環境の保全向上	非農用地創設効果	1,336 千円	関連事業の実施に伴い合理的・経済的に公共用地等が創設される効果

項 目		年効果額	効果の内容
地域の生活環境 の保全向上	安 全 性 向 上 効 果	5,323 千円	用水路の暗渠化により事故等が減少し、 地域の安全性が向上する効果 対象施設：農業用用水路
	文化財発見効果	6,353 千円	関連事業の実施に伴い埋蔵文化財の発掘 調査を行い、文化的価値が明確化される 効果
	公共施設保全効果	391 千円	関連事業の実施に伴い公共施設が保全さ れる効果
	地 域 用 水 効 果	335 千円	関連事業の実施に伴い農業用水の地域用 水としての機能が増進する効果
地域の生活環境 の保全向上	地 籍 確 定 効 果	795 千円	関連事業の実施に伴い区画が整形化さ れ、地籍が明確になる効果
	水辺環境整備効果	7,202 千円	関連事業によりせせらぎ水路を整備する ことにより、水辺環境が創設される効果
計		638,987 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	福井県	地区名	西江・中江２期
-----	-----------------	-------	-----	-----	---------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		16,491,000 千円	
年 効 用		955,811 千円	
廃 用 損 失 額		472,461 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		37 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0539	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	17,260,582 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.04	

２．年効用の総括

項 目		年効果額	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1,949 千円	関連事業の実施により農作物生産量が増大する効果 対象作物：水稻、大麦、大豆
営農経費及び維持管理費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	102,308 千円	用水施設の改修に伴い水管理費が節減する効果 対象作物：水稻
	維持管理費節減効果	15,638 千円	用水施設の改修に伴い維持管理費が節減する効果 対象施設：農業用用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	825,759 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産が維持される効果 対象施設：農業用用水路
地域の生活環境の保全向上	安 全 性 向 上 効 果	9,898 千円	用水路の暗渠化により事故等が減少し、地域の安全性が向上する効果 対象施設：農業用用水路

項 目		年効果額	効果の内容
地域の生活環境 の保全向上	水 辺 環 境 整 備 効 果	39 千円	関連事業によりせせらぎ水路を整備することにより、水辺環境が創設される効果
	地 籍 確 定 効 果	220 千円	関連事業の実施に伴い区画が整形化され、地籍が明確になる効果
計		955,811 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	三重県	地区名	宮川1工区
-----	-----------------	-------	-----	-----	-------

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	7,300,017 千円	
当該事業による費用		2,031,966 千円	
その他費用		5,268,051 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間		47 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）		7,961,994 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.09	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	227,892 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：水稻、大豆、野菜等
営農経費節減効果	55,719 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：水稻、野菜
維持管理費節減効果	7,755 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用水路、揚水機、水管理施設等
災害防止効果	128,974千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での災害による被害額が増減する効果 対象施設：農作物、農地、農業用施設、一般・公共資産
景観・環境保全効果	76,730 千円	頭首工魚道の改修により生態系ネットワークが確保され、生き物の生育環境が広がる事で環境が保全される効果 対象施設：頭首工

効果項目	年効果額	効果の要因
都市・農村交流促進効果	351千円	関連事業の実施により施設に付随するリクリエーション施設が観光資源として利活用される効果 対象施設：貯水池
安全性向上効果	2,787 千円	用水路施設の暗渠化に伴い転落事故等が減少し地域の安全性が向上する効果 対象施設：農業用用水路
計	388,770 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	滋賀県	地区名	安曇川左岸
-----	--------------	-------	-----	-----	-------

１．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	3,276,496 千円	
当該事業による費用		888,649 千円	
その他費用		2,387,848 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）		3,613,684 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.10	

２．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	187,371 千円	本事業を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：水稲、大豆、だいこん、キャベツ、かぶ
営農経費節減効果	8,386 千円	本事業を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：水稲、大豆、だいこん、キャベツ、かぶ
維持管理費節減効果	5,954 千円	本事業を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用水路
計	173,031 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	島根県	地区名	東潟ノ内
-----	--------------	-------	-----	-----	------

１．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	1,397,424 千円	
当該事業による費用		1,056,909 千円	
その他費用		340,515 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）		1,903,728 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.36	

２．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	50,835 千円	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：水稲
維持管理費節減効果	3,834 千円	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：排水機場
災害防止効果	44,157 千円	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での災害による被害額が増減する効果 対象施設：農業用施設、一般資産
計	91,158 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	沖縄県	地区名	読谷中部
-----	--------------	-------	-----	-----	------

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	4,670,725 千円	
当該事業による費用		1,469,337 千円	
その他費用		3,201,388 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		6,459,926 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.38	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	296,513 千円	畑地かんがい施設の整備及び関連事業を実施した場合としなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：さとうきび、いんげん、メロン、マンゴー等
営農経費節減効果	55,256 千円	畑地かんがい施設の整備及び関連事業を実施した場合としなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：さとうきび
維持管理費節減効果	36,245 千円	畑地かんがい施設の整備及び関連事業を実施した場合としなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路、農道、浸透池等
景観・環境保全効果	100,596 千円	関連事業の実施により赤土等の流出を軽減する効果
計	416,120 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	沖縄県	地区名	銭田
-----	--------------	-------	-----	-----	----

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	3,254,224 千円	
当該事業による費用		2,565,160 千円	
その他費用		689,064 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		47 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		6,581,797 千円	
総費用総便益比	= ÷	2.02	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	75,694 千円	排水施設の整備を実施した場合としなかった場合での 農作物生産量が増減する効果 対象作物：さとうきび、小ぎく、にがうり、輪ぎく等
維持管理費節減効果	873 千円	排水施設の整備を実施した場合としなかった場合での 維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路等
災害防止効果	299,977 千円	排水施設の整備を実施した場合としなかった場合での 災害による被害額が軽減する効果 対象施設：農業関連資産、公共資産、一般資産
計	376,544 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	沖縄県	地区名	マクソコ
-----	--------------	-------	-----	-----	------

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	3,524,844 千円	
当該事業による費用		1,364,557 千円	
その他費用		2,160,287 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		3,568,796 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.01	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	161,131 千円	畑地かんがい施設の整備及び関連事業を実施した場合としなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：さとうきび、かぼちゃ、にがうり、マンゴー等
営農経費節減効果	18,765 千円	畑地かんがい施設の整備及び関連事業を実施した場合としなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：さとうきび、たばこ、牧草、かぼちゃ、かんしょ
維持管理費節減効果	6,720 千円	畑地かんがい施設の整備及び関連事業を実施した場合としなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路、農道、浸透池等
景観・環境保全効果	24,388 千円	関連事業の実施により浸透池等や地下ダムが整備され赤土等の流出量が増減する効果及び水源施設等の整備により緊急水源確保及び学習機会が創出される効果
計	197,564 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	沖縄県	地区名	洲鎌上地
-----	--------------	-------	-----	-----	------

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	3,235,444 千円	
当該事業による費用		1,082,214 千円	
その他費用		2,153,230 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）		4,223,127 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.30	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	118,514 千円	畑地かんがい施設の整備及び関連事業を実施した場合としなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：さとうきび、牧草、かぼちゃ、にがうり、マンゴー等
営農経費節減効果	28,659 千円	畑地かんがい施設の整備及び関連事業を実施した場合としなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：さとうきび、たばこ、牧草、かぼちゃ、かんしょ
維持管理費節減効果	6,306 千円	畑地かんがい施設の整備及び関連事業を実施した場合としなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路、農道、沈砂池等
景観・環境保全効果	99,294 千円	関連事業の実施により浸透池等や地下ダムが整備され赤土等の流出量が増減する効果及び水源施設等の整備により緊急水源確保及び学習機会が創出される効果
計	240,161 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	沖縄県	地区名	西原東
-----	--------------	-------	-----	-----	-----

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	3,942,089 千円	
当該事業による費用		845,366 千円	
その他費用		3,096,723 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		4,521,903 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.14	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	89,500 千円	畑地かんがい施設の整備及び関連事業を実施した場合としなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：さとうきび、牧草、にがうり、マンゴー等
営農経費節減効果	59,465 千円	畑地かんがい施設の整備及び関連事業を実施した場合としなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：さとうきび、たばこ、牧草、かぼちゃ、かんしょ
維持管理費節減効果	7,341 千円	畑地かんがい施設の整備及び関連事業を実施した場合としなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路、農道、浸透池等
景観・環境保全効果	106,082 千円	関連事業の実施により浸透池等や地下ダムが整備され赤土等の流出量が増減する効果及び水源施設等の整備により緊急水源確保及び学習機会が創出される効果
計	247,706 千円	